



**Transaction Guidelines (JP)**

Sep 2022

目次

[変更履歴 3](#_Toc116996841)

[UCB様 cXML マッピング要望と標準との差分情報 4](#_Toc116996842)

[注文書 (Tab 1) 4](#_Toc116996843)

[注文確認 (Tab 2) 4](#_Toc116996844)

[出荷通知 (Tab 3) 5](#_Toc116996845)

[請求書 (Tab 4 and Tab 5) 5](#_Toc116996846)

[追加表示項目 (Tab 6) 6](#_Toc116996847)

[UCB様詳細要件 8](#_Toc116996848)

[スコープ 8](#_Toc116996849)

[注文書詳細 9](#_Toc116996850)

[注文確認詳細 13](#_Toc116996851)

[出荷通知詳細 13](#_Toc116996852)

[請求書詳細 14](#_Toc116996853)

[アリバネットワーク　サポート情報 18](#_Toc116996854)

**テーブル一覧：**

[Table 1 - サポート対象/対象外　注文書タイプ 9](#_Toc114580739)

[Table 2 - サポート対象/対象外　請求書タイプ 14](#_Toc114580740)

# 変更履歴

変更履歴はこの文章の内容が更新されるたびに追加されます。ログにはバージョン番号、バージョンが完了した日付、変更担当者、変更についての簡単な説明を記載しています。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Version | Date | Author | Description |
| 1.0 | 2022/Sep/29 | Ping Zhang | 初版 |
| 1.1 | 2022/Oct/18 | Ping Zhang | 請求日（InvoiceDate）ルール更新 (ガイドライン（.docx）とDeltaファイル(.xlsx)両方) |
|  |  |  |  |

|  |
| --- |
|  |
| SAP STATEMENT OF CONFIDENTIALITY AND EXCEPTIONS  The contents of this document shall remain the confidential property of SAP and may not be communicated to any other party without the prior written approval of SAP. This document must not be reproduced in whole or in part. It must not be used other than for evaluation purposes only, except with the prior written consent of SAP and then only on condition that SAP’s and any other copyright notices are included in such reproduction. No information as to the contents or subject matter of this proposal or any part shall be given or communicated in any manner whatsoever to any third party without the prior written consent of SAP.  The furnishing of this document is subject to contract and shall not be construed as an offer or as constituting a binding agreement on the part of SAP to enter into any relationship. SAP provides this document as guidance only to estimate costs and time-scales of the predicted delivery project. This will be subject to confirmation prior to any contractual or delivery commitment by SAP.  SAP warrants that to the best of its knowledge those who prepared this material have taken all reasonable care in preparing it and believe its contents to be true as at the date of this document. SAP cannot however warrant the truth of matters outside of its control and accordingly does not warrant the truth of all statements set out in this document to extent that such statements derive from facts and matters supplied by other persons to SAP. The statements in this document are qualified accordingly. | |

# UCB様 cXML マッピング要望と標準との差分情報

**差分情報(cXML Delta)**

下記のExcelにはアリバネットワークで許容されているcXML基準に加え、UCB様のcXML追加要望が記載されています。



**Delta File Name:** UCB cXML Delta\_JP\_V1.1.xlsx

※カタログ購買用cXMLサンプルのみとなります

下記はUCB様の調達業務におけるcXMLにかかる独自要件のサマリーです。詳細についてはExcelの差分情報(cXML Delta)に記載しています。

## 注文書 (Tab 1)

* 変更注文書上で未変更明細の確認状況を保持する。
* 一部出荷済み注文書及び全部出荷済み注文書の変更注文を許可する。
* 一部出荷済み注文書取消注文を許可する。
* 全出荷済み注文書の取消注文を許可しない。
* 税情報をサプライヤー様に送付しない。

## 注文確認 (Tab 2)

* 文書添付を許可しない。
* 注文確認を複数回実行することを許可する。
* 明細レベルでの注文確認の作成を許可する。
* 明細レベルで、数量を指定する却下を許可する。また、理由の記載を任意とする。
* 注文全体を却下することを許可する。また、理由の記載を任意とする。
* 注文確認に、出荷予定日の記載を任意とする。
* 注文確認に、配達予定日の記載を**必須**とする。
* 確認済みまたは入荷待ち明細に対し、明細レベルでのコメント入力を許可する。
* 注文確認を作成されていないとしても、systemよりリマインダを送信されない。
* 単価を増やすこと及び数量の変更を不可とする。
* 明細の説明、単価の通貨と品目ID及び品目補助IDの変更を許可する
* 出荷予定日または配達予定日に過去日の使用を許可する。

## 出荷通知 (Tab 3)

* 文書添付を許可しない。
* 出荷通知の作成の前に注文確認を作成する必要はない。
* 出荷先が異なる明細を分けて出荷通知を作成する**必要**がある。
* 実際または予定の出荷日の記載を**必須**とする。
* 配達予定日の記載を**必須**とする。
* 異なる配達日の分納を許可する。
* 配送業者、追跡番号等の輸送情報の記載を**不可**とする。
* 明細の 品目ID・説明・単価・通貨を変更**不可**とする。
* サプライヤー側での出荷通知の更新を許可する。
* 作成した出荷通知のキャンセルを許可する。
* 品目の数量を0とした場合の出荷通知作成を不可とする。
* 複数のオーダー及び分納契約リリースの指定を許可する。

## 請求書 (Tab 4 and Tab 5)

* 請求書作成の前に注文確認・出荷通知を作成する必要はない。
* クレジット・メモを作成する場合、理由の指定を**必須**とする。
* 明細レベルで税情報を入力することを**必須**とする。
* 修正税情報を注文書から請求書にコピーする。
* 注文書にあった値引き及び手数料の税情報を請求書にコピーする。
* 明細の説明を指定することを**必須**とする。
* 請求日として、過去**7**日前までさかのぼらせることを許可する、また、未来日の指定に対し、特に制約はない。
* 請求書番号の最大桁数は16 byteとする。
* 請求書に以下アドレスの指定を**必須**とする：請求先（BillTo）、請求元（BillFrom）販売先（SoldTo）、送信者（From）、送金先（RemitTo）、出荷元（ShipFrom）、出荷先（ShipTo）情報。
* 注文書上の請求先住所（BillTo）を請求書上の販売先住所(SoldTo)として使用する。
* 付加価値税（VAT）という税カテゴリを選択された場合、供給日の指定を**必須**とする。
* 付加価値税（VAT）の税率がゼロだった場合、免除の詳細の指定を**必須**とする。
* 税総計（Tax Summary）で詳細な税情報の指定を**必須**とする。
* 請求書合計に、小計、税額及び支払金額の明示を**必須**とする。
* 数量及び単価両方がゼロより大きい値を指定する**必要**がある。
* 以下の処理をサプライヤー様に**許可**する
* 文書添付すること
* 明細レベル　及び　ヘッダーレベルのクレジット・メモ作成
* 数量の調整　または　価格の調整を含む明細レベルのクレジット・メモ作成
* 請求金額を超える明細レベルのクレジット・メモの作成
* 品目の数量がゼロのクレジット・メモ作成
* 品目の数量、または明細の小計を増やすこと
* 明細の説明の変更、単価の変更、品目番号の変更
* 値引き及び手数料の追加
* 注文書あり請求書に明細を追加すること
* 以下状況の請求書番号(InvoiceID)の再利用：却下済みと処理エラーの請求書ステータスになったもの
* 注文書に表示されている出荷先情報の変更
* 以下の処理をサプライヤー様に**許可しない**
* 価格の調整を含む明細レベルのデビットメモの作成
* 品目価格がゼロのデビットメモの作成
* 単価の通貨、数量単位　または　品目補助IDの変更
* ヘッダーレベルで出荷情報、税情報または割引の入力
* 請求書番号に、以下特殊文字の使用： " < > [ \ ] ^ ` { | } ' &
* 注文書に表示されている支払条件の変更
* 出荷費用、その他手数料、および税の詳細情報を、独立した請求書明細としての追加
* ご自身が作成した請求書をキャンセルすること
* 注文書なし請求情報の作成
* 請求書およびクレジット・メモで、税率と種類の作成

## 追加表示項目 (Tab 6)

CompanyCode

PurchaseGroup

PurchaseOrganization

Requester

Ariba.invoicingAllowed

Ariba.availableAmount

AribaOrderID

partyAdditionalID

AribaNetwork.PaymentTermsExplanation

customerReferenceNo

deliveryReference

receiverID

AccountCategory

ReceivingType

extLineNumber

transactionCategoryOrType

# UCB様詳細要件

## スコープ

UCB様 本番機 ANID: **AN01011773569**

UCB様 検証機ANID: **AN01011773569**-T

必須トランザクション

* + 注文書
  + 注文確認　（UCB様のご要望では「必須」だが、必要に応じUCB様とご相談ください）
  + 請求書

任意トランザクション

* + 出荷通知
  + 受領書

## 注文書詳細

|  |  |
| --- | --- |
| サポート対象の注文書タイプ | サポート対象外の注文書タイプ |
| 新規注文書 | サービス注文書 |
| 変更注文書 | 見積り注文書(コラボレーション) |
| 取消注文書（出荷前の注文書のみ） |  |
| カタログ外注文書 |  |
| 添付付き注文書 |  |
| 包括発注書 |  |

Table 1 - サポート対象/対象外　注文書タイプ

**バイヤー様グループ会社間の識別について:**

* 注文書はUCB様およびUCB様グループ会社にて、同一ANIDで作成されます。
* 注文書内のヘッダーレベルには、下記のグループ会社識別項目および識別子“XXXX“が存在します。

<Extrinsic name="CompanyCode">XXXX</Extrinsic>

* 識別子の一覧は、別途バイヤー様より提供されるグループ会社識別子リストをご確認ください。

**出荷先住所**

* + UCB様の注文書では、出荷先住所（ShipTo）は常にヘッダーレベル及び明細レベル両方で送信されるケースを発生される。
  + Ad-hoc住所(購買ユーザの手入力による住所情報入力)は使用されない。
  + UCB様の注文書cXMLでは、下記の形式で出荷先住所が連携される。

▽出荷先住所サンプルcXML▽

<ShipTo>

<Address addressID="0000889388" addressIDDomain="buyerLocationID" isoCountryCode="JP">

<Name xml:lang="en">ユーシービージャパン株式会社 -</Name>

<PostalAddress name="default">

<DeliverTo>LROSIANU/BE</DeliverTo> **※1**

<Street>新宿区西新宿8-17-1 新宿グランドタワー</Street>

<City>東京都</City>

<Municipality/>

<PostalCode>160-0023</PostalCode>

<Country isoCountryCode="JP"/>

</PostalAddress>

<Phone>

<TelephoneNumber>

<CountryCode isoCountryCode="JP">81</CountryCode>

<AreaOrCityCode/>

<Number>0081 4 2934 5431</Number>

</TelephoneNumber>

</Phone>

</Address>

<IdReference domain="buyerLocationID" identifier="0000889388"/>

</ShipTo>

△サンプルcXML END△

* + 尚、システム的に注文書cXMLを取込む際の注意点は下記の通りです。

1). Name項目には、会社名が連携される。

2). DeliverTo 1行目には、

・**受取人名**（半角または全角の平仮名、片仮名、漢字、ローマ字が発生し得る）が連携される。

**※1**：注文書に全ての明細に対し、同じ出荷先（ShipTo）を利用され、即ち、ShipToがヘッダーにおいている場合のみDeliverToという項目があり、複数の明細に対し、異なった出荷先（shipTo）を利用され、即ち、ShipToが明細レベルにおいている場合に、以下項目より受取人情報を取得してください。

**<Extrinsic name="receiverID">LROSIANU</Extrinsic>**

* + 情報取得ロジックの考慮点は下記の通りです。
* 住所情報：「住所」+「会社名」

「住所」 ---- shipTo下の<City>および<Street>情報。※<Street>は最大3回繰返しあり。

「会社名」 ---- <Name>情報の文字列全て。

* 受取人名：出荷先情報の扱いによって取得方法が違うので、上記※1ご参照ください。
* 電話番号： <Phone><TelephoneNumber>下の<Number>を利用する。

**支払条件**

UCB様のPOに、支払条件の指定は**必須**となります。cXMLメッセージサンプルは以下の通りです。

<Extrinsic name="AribaNetwork.PaymentTermsExplanation">20日締め翌々月末日払い 20日締め翌々月末日払い</Extrinsic>

**希望納期日**

UCB様の注文書では、希望納期日の指定は**必須**となります。

希望納期日指定のcXMLメッセージサンプルは下記の通りです。(※ISO 8601に準ずる。要UTC時差計算)

<ItemOut quantity="1" requestedDeliveryDate="2022-04-03T15:00:00-07:00" lineNumber="2">

上記サンプルの” T15:00:00-07:00”部分は**可変値**となります。

希望納期日の計算をバイヤー様毎に開発しなくても良いよう、

以下の計算ロジックを用いることを推奨します。

requestedDeliveryDate=”2019-09-09T03:30:00-07:00”

A X Y

日本時間（UTC）=　+09:00

　　 B

計算方法

B + X - Y >= 24 … A + 1日

B + X - Y < 24 … A （当日）

例

①

requestedDeliveryDate=”2019-09-09T08:00:00-07:00”の場合

9 + 8 - (-7) = **24**

となるので、

希望納期日は2019-09-10(=A + 1日)に設定する。

②

requestedDeliveryDate=”2019-09-09T03:30:00-07:00”の場合

9 + 3.5 - (-7) = **19.5**

となるので、

希望納期日は2019-09-09(=A)に設定する。

**カタログ外注文について**

カタログ外注文で注文書が作成された場合には、各明細毎に下記の属性isAdHoc=”yes”が追加される。

</OrderRequestHeader>

<ItemOut isAdHoc="yes" quantity="1" lineNumber="1">

<ItemID>

<SupplierPartID>TEST001</SupplierPartID>

**注文書変更・注文書キャンセルについて**

注文書変更または注文書キャンセルの場合には、下記の内容が新規注文書とは異なる。

----新規注文書のサンプル----

<OrderRequestHeader orderDate="2020-03-23T02:39:32-07:00"

orderID="PO328" orderType="regular" orderVersion="1" type="new">

----注文書キャンセルのサンプル----

<OrderRequestHeader orderDate="2020-03-23T02:39:32-07:00"

orderID="PO328" orderType="regular" orderVersion="1" type="delete">

…………

……

<DocumentReference payloadID=

"1585222360698.103221495.000000841@rMyR66sElVMTq6D17VFCzWNwYTI=" />

</OrderRequestHeader>

----注文書変更のサンプル----

<OrderRequestHeader orderDate="2020-03-23T02:39:32-07:00"

orderID="PO328" orderType="regular" orderVersion="2" type="update">

…………

……

<DocumentReference payloadID=

"1584956373223.711577106.000000142@DZH+WXeb/MPmEtDd64U1vXP49wk=" />

</OrderRequestHeader>

## 注文確認詳細

UCB様では注文確認は**任意**です。サポートされている入力方法は下記の通り：

* + cXML
  + アリバネットワーク画面からのオンライン入力

**利用可能パラメータについて**

注文確認を作成する場合の注意点は以下の通り：

* 注文確認のヘッダーレベルでは、operation属性に対し、”new” “update”の利用が可能。
* 注文確認のヘッダーレベルでは、type属性に対し、"allDetail"を固定値として指定される。
* 注文確認の明細レベルでは、type属性に対し、"accept","backordered","reject","unknown"の利用が可能

**配達日および出荷日の取扱いについて**

配達予定日の指定-**必須**、出荷予定日の指定-**任意**

<ConfirmationStatus deliveryDate="2019-02-21T09:00:00+09:00"

shipmentDate="2019-02-20T19:00:00-08:00"

## 出荷通知詳細

UCB様では出荷通知が**任意**です。サポートされている入力方法は下記の通り：

* + cXML
  + アリバネットワーク画面からのオンライン入力

**配達日および出荷日の取扱いについて**

配送予定日-**必須**、実際“actual“(又は予定“planned“)出荷日の指定-**必須**

<ShipNoticeHeader shipmentType="actual"

deliveryDate="2019-01-07T19:00:00-08:00" shipmentDate="2019-01-06T19:00:00-08:00"

## 請求書詳細

UCB様では請求書は**必須**です。サポートされている入力方法は下記の通り：

* + cXML
  + アリバネットワーク画面からのオンライン入力

|  |  |
| --- | --- |
| 請求書タイプ(サポート対象) | 請求書タイプ(サポート対象外) |
| 個別詳細請求書：通常注文書の各個別明細に対して発行された請求書。明細内容は物品にかかる。 | ヘッダーレベル請求書：個別明細を含まない単一注文書に対して発行された単一請求書。 |
| 部分払請求書：注文書上の複数明細のうちの一部に対して発行された請求書。 | 請求書の内、Pカード(クレジットカードによる支払い)に対して発行されたもの。 |
| 請求書で、物品にかかる注文書に対して発行されたもの。 | 注文なし請求書：アリバネットワークを経由せずに処理された注文書に対して発行された請求書。 |
| 取消請求書 | デビットメモ |
| 明細レベルクレジットメモ | 請求書の内、役務提供にかかる注文書(サービス注文書)に対して発行されたもの請求書。 |
| 明細レベルクレジットメモ：cXML上にインボイスの目的としてpurpose=”lineLevelCreditMemo”がセットされたもの。(cXML 1.2.018 バージョン以降) | サービスエントリーシート(SES) |
| 請求書の内、包括発注書に対して発行されたもの。 | 明細レベルクレジットメモの内、明細内容の商品数量が負数で且つ単価が正数となるケースを含むもの。 |
|  | 契約参照付き請求書 |
|  | 重複請求書：元となった請求書処理がキャンセル/却下/処理エラーとなった場合に、請求書番号が再利用された請求書。 |

Table 2 - サポート対象/対象外　請求書タイプ

**支払条件について**

原則として、注文書に記載の支払条件に従って、請求書上の支払条件を入力するものとする。

サンプル：

<Extrinsic name="AribaNetwork.PaymentTermsExplanation">20日締め翌々月末日払い 20日締め翌々月末日払い</Extrinsic>

**送金先アドレス情報(remitTo)**

[固定値] – **必須**

* + 請求書に対して、送金先アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + AribaNetwork上に登録したサプライヤー様自身の会社情報を利用する。属性”addressID=”は記述不要。

※バイヤー様より指定があった場合：記述内容はバイヤー様に従う。

**請求先アドレス情報(billTo)**

[可変値]

* + 請求書に対して、請求先アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + 注文書に記載されている**請求先アドレス情報**(billTo)を利用する。

**販売元アドレス情報(from)**

[固定値] – **必須**

* + 請求書に対して、販売元アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + AribaNetwork上に登録したサプライヤー様自身の会社情報を利用する。

**請求元アドレス情報(billFrom)**

[固定値] – **必須**

* + 請求書に対して、請求元アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + AribaNetwork上に登録したサプライヤー様自身の会社情報を利用する。

**販売先アドレス情報(soldTo)**

[固定値] – **必須**

* + 請求書に対して、販売先アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + 注文書に記載されている**請求先アドレス情報(billTo)**を利用する。

**出荷元アドレス情報(shipFrom)**

[固定値] – **必須**

* + 請求書に対して、出荷元アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + AribaNetwork上に登録したサプライヤー様自身の会社情報を利用する。

**出荷先アドレス情報(shipTo)**

[可変値] – **必須**

* + 請求書に対して、出荷先アドレス情報の入力を**必須**とする。
  + 注文書に記載されている出荷先アドレス情報を利用する。

**配送料と特別対応料金**

* + 配送料と特別対応料金の入力運用を可能とする。

**明細レベル検証ルール**

* 請求書作成時に、対象となる注文書内の下記項目は変更可能とする。
  + 明細毎の小計金額
  + 注文数量を超える数量値の入力
* 請求書作成時に、対象となる注文書内の下記項目は変更不可とする。
  + 単価
  + 単価の通貨
  + 数量単位
  + 品目番号
  + 商品分類コード

**税に対する要件**

* 税の入力は明細レベルとサマリーレベルで**必須**とする。
* サプライヤー様は、下記の”税項目一覧”より適切な値を指定することができる。

**税項目一覧**

UCB様で作成された注文書の税情報をサプライヤー様に送らないので、請求情報を作成する際に、下記いずれかの値を用いて、税情報のご指定が必須となります。

[税率 <percentageRate>]

* “10” ・・・・消費税率10%の場合
* “8” ・・・・消費税率8%の場合
* “5” ・・・・消費税率5%の場合
* “0” ・・・・消費税率/輸出免税0%の場合

[税説明<Description>]

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 税カテゴリ | 税率 | 税説明 | コメント |
| Sales Tax | 10% | Sales Taxable | 消費税率10% |
| Export Duty free | 0% | Export Duty free | 輸出免税 |
| Sales Tax | 0% | Sales Non Taxable | 非課税 |
| Sales Tax | 0% | Out of Sales tax | 消費税不課税 |
| Sales Tax | 8% | Sales Taxable | 軽減税率8% |
| Sales Tax | 5% | Sales Taxable | 消費税率5% |

**複数税率の取扱いについて**

１つの注文書に複数異なる税率が存在した場合には注意が必要です。

下記が請求書の作成例になります。

例). 税率が複数存在する場合

<Tax>

<Money currency="JPY">190</Money>

<Description xml:lang="ja">

</Description>

<TaxDetail category="sales" percentageRate="10">

<TaxableAmount>

<Money currency="JPY">300</Money>

</TaxableAmount>

<TaxAmount>

<Money currency="JPY">30</Money>

</TaxAmount>

<Description xml:lang=" Sales Taxable </Description>

</TaxDetail>

<TaxDetail category="sales" percentageRate="8">

<TaxableAmount>

<Money currency="JPY">2000</Money>

</TaxableAmount>

<TaxAmount>

<Money currency="JPY">160</Money>

</TaxAmount>

<Description xml:lang="ja"> Sales Taxable </Description>

</TaxDetail>

</Tax>

例). 税率が単一の場合

<Tax>

<Money alternateAmount="26.6000" alternateCurrency="EUR" currency="JPY">3800</Money>

<Description xml:lang="en"/>

<TaxDetail category="sales" percentageRate="10">

<TaxableAmount>

<Money currency="JPY">38000</Money>

</TaxableAmount>

<TaxAmount>

<Money alternateAmount="26.6000" alternateCurrency="EUR" currency="JPY">3800</Money>

</TaxAmount>

<Description xml:lang="en">Sales Taxable</Description>

</TaxDetail>

</Tax>

**小数点の取扱いについて**

単価及び小計の取扱いについては下記の通りとなります。

単価：小数点なし

小計（単価\*数量）：小数点なし

税額：小数点なし、小数点第一位で四捨五入(明細毎)

※1つの注文書(注文番号)に対して複数の請求書を作成(分割請求)した場合、注文書の合計値と請求書の合計値にズレが生じる場合がございます。ズレが生じた結果、バイヤー様からサプライヤー様に対して、金額調整の問合せが発生する場合がございますので、ご了承ください。

# アリバネットワーク　サポート情報

UCB様の取引先はサプライヤーインテグレーション（SI）のサポートを受けることができます。 SIサポートは、テストフェーズ中およびUCB様の本稼働後2週間後まで、または最初の本番処理データが取り交わされるまで利用できます。 その期間が過ぎると、サプライヤー様自身がAribaのカスタマー・サポートを活用して本番機上の問題を解決する必要があります。カスタマー・サポートに連絡するには、ブラウザでアリバネットワークにログイン後、「ヘルプセンター」から「サポートセンター」を選択し、「電子メールによるサポートを受ける」又は「電話によるサポートを受ける」から問い合わせをしてください。

アリバネットワーク上の全バイヤー様との間での取引量に応じて、自動的にサプライヤーメンバーシッププログラムが適用されます。 サブスクリプションレベルに応じて、貴社は、これら各レベルのメンバーが排他的に利用できる多くのプレミアム機能やサービスにアクセスできます。 シルバー、ゴールド、およびプラチナの各レベルでは、継続的な技術的電子文書サポートが提供されています。

詳細は下記のリンクをご参照下さい。

<http://www.ariba.com/assets/uploads/documents/Datasheets/SMP_Subscription_Datasheet.pdf>.

貴社のサブスクリプションレベルを知りたい場合は <https://supplier.ariba.com>よりログイン後、画面右上の「会社設定」メニューをクリックすると確認できます。

Aribaのサポートプログラムの1つに加入するまでの間は、アカウントの登録、アクセス、設定に関する制限付きのサポートを、Aribaから受けることができます。

**Webからのアクセスについて:**

|  |  |
| --- | --- |
| **Ariba Network アカウントにログインできる場合** | **Ariba Network アカウントにログインできない場合** |
| * <http://supplier.ariba.com> よりANにログインする   Login at [http://supplier.ariba.com](http://supplier.ariba.com/)   * 画面右上にある「**ヘルプセンター**」から、右下の「**さらに表示**」をクリックします。 * 「Ariba Exchange User Community ホームが表示されるので、「**サポートセンター**」をクリックします。 * 「サポートを必要としている項目」にお問い合わせ内容のキーワードを入れて「 **開始**」ボタンをクリックします。 * お問い合わせ内容の類似内容が下に表示されます。 * 探している内容が見つからない場合は、その下にあります「**SAP Ariba カスタマサポートへのお問い合わせ**」に答えます。 * ここでも見つからない場合には「**電子メールによるサポートを受ける**」 「**電話によるサポートを受ける**」のいずれかを選択します。 | * <http://supplier.ariba.com> を表示する   Go to [http://supplier.ariba.com](http://supplier.ariba.com/)   * ログインに関する問題については「ログインできない場合」をクリックして「ユーザー名を忘れた」「パスワードを忘れた」より選択し継続ボタンをクリック * 画面上の質問事項を埋め、実行ボタンを押下する |